

2022 年度
嵐山寮小規模多機能施設ひろさわ
サービス評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	12月9日・12月21日 (小規模会議及び、電子回覧にて協議にて確定)
------------------	-----	--

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	全職員 15名 内 14名 (1名産休取得中)
--------------------	------	-------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	1人	2人	14人

前回の改善計画	<p>●ご利用者・ご家族・介護者との関係づくりとして、初回訪問時、ケアマネジャーと同行訪問実施。また、初回利用時より6か月の間に1回以上は訪問（ケアマネジャー同行・援助訪問・送迎訪問など）を実施する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>初回訪問についてはケアマネジャーとの日程が合わず難しが多かったが、6か月以内のケアマネジャーとの同行訪問は概ね実施出来ていた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	6	0	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	10	0	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	6	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	9	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新規ご利用者の情報は、利用開始前にケアマネジャーからの電子回覧があり共有できている。 新規ご利用者に対しては、より一層の声掛けを行い不安の解消に努めている。 開始前の情報で、ご利用者やご家族の希望の共有を行うことで、ケアに活かしている。 新規ご入用者の情報は、些細なことでもケース記録に残すように心がけている。 ご家族が、来寮された際や訪問時に、コミュニケーションをとることで関係性を築くように努めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 訪問できない職員とできる職員では、ご利用者のご自宅での様子の理解に差が生じるから。 まずご利用者との関係構築を考えているため、ご家族へのアプローチが少ないと感じたから。 ご家族と話す機会が少ないため、ご家族の希望や不安が分かりづらいと感じたから。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>●利用開始前の情報を基に、ご利用者・ご家族が必要としている支援を、毎日の小会議にて共有する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 12月9日・12月21日
(小規模会議及び、電子回覧にて協議にて確定)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 全職員 15名 内 14名 (1名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	4人	0人	14人

前回の改善計画
●ご利用者の「～したい」を聞き取り、定例会議で各担当職員が発表し実施方法を検討する。決定事項は、ケースに入力し共有を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
ご利用者の「～したい」という思いは概ね聞き取りができていたが、コロナウイルス感染防止のため、一部のご利用者の「～したい」を実現することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	4	6	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	5	5	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	7	4	0	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	8	3	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・日々のミーティングで、振り返りを行い、次へのケアに活かしている。・現在の「～したい」の理解は聞き取り等で行えた。・月末評価で、目標を確認し、「～したい」を考え、かかわりを持っている。・今後の生活の意向に関して聞き取り行っている。・趣味の聞き取りを行い、職員間で共有できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ご利用者の目標「ゴール」を考えケアを行っていなかったと感じたから。・コロナウイルスの影響で、外出したいとの思いはあるが、希望に添えなかったから。・目標の理解はしているものの、日々のケアに追われて、活かしてなかったと感じたから。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	●小規模多機能型居宅介護サービス計画書を用いて、毎月の定例会議で目標の共有を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 12月9日・12月21日
(小規模会議及び、電子回覧にて協議にて確定)

3. 日常生活の支援

メンバー 全職員 15名 内 14名 (1名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	8人	0人	0人	14人

前回の改善計画	
●継続計画 ご利用中や訪問時の様子(言動・表情など)を1つ以上、ケースに記録を残し、職員間で共有を図る。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
概ね取り組めた。ご利用者の表情や言動を以前より意識的に観察するようになったことご利用者の思いや気持ちを汲み取りたいという意識がさらに強くなった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	9	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	5	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	8	1	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	8	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	8	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・電子回覧や朝礼、夕礼、定例会議で基本的な情報、現状は周知できている。 ・基礎的な介護技術は出来ていると感じる。 ・体調面の即時的な対応は、ある程度できている。 ・体調変化については、他職員・看護師とともに連携し対応できている。 ・職員だけで考えず、ご利用者に聞くように努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・訴えがあるご利用者の対応を優先することが多く、訴えの少ないご利用者の声を聴くことが疎かになったと感じたから。 ・業務を優先するがあまり、訴えがあった時点で即時対応が行えていないと感じたから。 ・以前の暮らしは意識しているが、10個までは把握していなかったから。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●ご利用者との日常会話の中から得た、自宅での生活や以前の暮らしの情報をケース記録に入力し、職員間で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 12月9日・12月21日
(小規模会議及び、電子回覧にて協議にて確定)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 全職員 15名 内 14名 (1名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	6人	0人	3人	14人

前回の改善計画	●介護職員が、ご自宅での生活の様子や意向・生活スタイルを理解するため、ご自宅へ訪問（ケアマネジャーと同行訪問・訪問援助など）を、年1回以上行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	概ね実施できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	8	2	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	9	1	2	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	9	2	2	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	6	3	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での様子は、連絡帳やご利用者との会話の中から情報収集を行えた。 ・ご利用者との会話の中で、日常生活や近所とのかかわりを把握している。 ・特定のご利用者ではあるが、近隣住民や民生の方から情報提供があり、ケアにつなげることができた。 ・訪問に行った職員より、情報の報告があり、自宅での様子を共有できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・施設内でケアを行っているため、社会資源の必要性がわからなくなってくると感じたから。 ・日々の施設内の業務を行うことで精一杯であり、地域の資源の理解が疎かになったと感じたから。 ・地域行事がコロナウイルスで行えず、地域とのかかわりが薄くなってきていると感じたから。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●関係性が途切れないように、ご本人・ご家族と一緒に、在宅生活を支える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 12月9日・12月21日
(小規模会議及び、電子回覧にて協議にて確定)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 全職員 15名 内 14名 (1名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	2人	5人	6人	14人

前回の改善計画	●地域資源についての研修会を実施し、事業所周辺の地域資源を知る。
前回の改善計画に対する取組み結果	令和4年3月に実施を予定している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	6	2	4	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10	4	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	10	4	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	6	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・日々の変化に関しては、電子回覧や朝礼、夕礼で、職員間において情報共有ができています。・日々の変化は、ケア記録に入力し情報共有ができています。・通い、宿泊、訪問の柔軟な対応が行えている。・ご利用者の気持ちや思いを理解し、柔軟なケアが行えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・地域の資源として把握しているものが少ないと感じたから。・コロナウイルスの影響で、地域資源を活用するよりも、施設内で何とかしようと心掛けていたから。・コロナウイルスの影響で、地域に出向くことを考えていなかったため、地域との交流が疎かになったと感じたから。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●通い・訪問・宿泊時の様子を連絡帳に記載してご家族と情報共有する。連絡帳がないご利用者に関しては、口頭やメールでご家族と情報共有を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 12月9日・12月21日
(小規模会議及び、電子回覧にて協議にて確定)

6. 連携・協働

メンバー 全職員 15名 内 14名 (1名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	4人	2人	14人

前回の改善計画	●担当者会議に介護職員も年一回以上は参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナウイルス感染症の影響によりで出席できない職員がいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3	6	1	4	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	4	2	8	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	4	1	9	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	4	1	9	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">避難訓練を、消防署と行うことができた。介護職員の参加は難しい状況ではあるが、必要な会議などに関しては、実施していたと感じた。医療面は、医療、介護、看護師、ケアマネジャーと連携が取れていた。コロナウイルスの影響で、担当者会議の参加が難しい状況であったが、会議前に電子回覧や口頭で情報収集できていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">コロナウイルスの影響で、予定していたイベントなどが全て実施できない状況であったから。コロナウイルスの影響で、イベント参加を控えていたため、外部との交流はほとんどなかったから。地域の会議も必要最低限しか行っていないように感じたから。コロナウイルスの影響で、地域の会議に介護職員が参加できなかったから。パート職員の場合は地域の団体と接触する機会が少ないと感じたから。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●担当者会議に、必ず介護職員もしくは、看護職員が参加する。 地域の会議に参加した際には、電子回覧等で情報共有を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 12月9日・12月21日
(小規模会議及び、電子回覧にて協議にて確定)

7. 運営

メンバー 全職員 15名 内 14名 (1名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	6人	0人	0人	14人

前回の改善計画	<p>●計画継続</p> <p>意見・苦情を事業運営に反映する為に、年2回アンケート実施する。 そのうち1回は、ご利用者に聞き取りを行う。 1回目：質問表で配布し、記載方式とする。 2回目：ご利用者に直接聞き取りを行う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	アンケート結果をもとに、ご利用者・ご家族の意見をサービスに反映することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3	9	1	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	10	0	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	2	1	14
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	5	4	4	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご家族からの要望や苦情に対しては、定例会議や小会議で議論し、改善策を講じることができた。 地域からの苦情等には、即時対応していた。 上長になんでも相談できる環境であり、会議などでも、意見を言うことはできていた。 10周年記念行事には、地域の方々や家族会の方々が参加していただき、開催することができた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域からの苦情や要望に対して、地域とご家族の思いの違いから、対応が出来ていない事柄があったから。 今年度も、コロナウイルスの影響で、地域とのかかわり合いを感じられなかったから。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>計画継続</p> <p>意見・苦情を事業運営に反映する為に、年2回アンケート実施する。 そのうち1回は、ご利用者に聞き取りを行う。 1回目：質問表で配布し、記載方式とする。 2回目：ご利用者に直接聞き取りを行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 12月9日・12月21日
(小規模会議及び、電子回覧にて協議にて確定)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 全職員 15名 内 14名 (1名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	1人	0人	14人

前回の改善計画

●年4回、スキルアップの観点から、職員（看護職員・介護職員）が講師となり、研修を実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果

「ノロウイルス感染予防対策」「感染予防のためのガウンテクニック」「高齢者虐待及び身体拘束予防」研修を、看護職員・介護職員が講師となり開催した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	7	6	1	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	7	0	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	3	8	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	6	1	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ヒヤリハットをあげる事で、ご利用者に対して細かくケアする事を心掛けるようになった。
- ・スキルアップできるように自身で取り組んでいる。
- ・部署内研修は、定期的に行っている。
- ・ヒヤリハットの事例に関しては、その日のうちに話し合いができています。
- ・外部研修は、ZOOM開催の研修に参加できていた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・外部研修、地域連絡会に、コロナウイルスの影響で参加しづらかったから。
- ・他の職員が研修に行っても報告がないため、研修に参加できているかはわからないと感じたから。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

計画継続

●年4回、スキルアップの観点から、職員（看護職員・介護職員）が講師となり、研修を実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 12月9日・12月21日
(小規模会議及び、電子回覧にて協議にて確定)

9. 人権・プライバシー

メンバー 全職員 15名 内 14名 (1名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	7人	0人	0人	14人

前回の改善計画
●各項目を毎月の定例会議にて話し合う。 身体拘束：4月・7月・10月・1月 虐待：5月・8月・11月・2月 個人情報・プライバシー：6月・9月・12月・3月
前回の改善計画に対する取組み結果
定例会議で話し合うことで、職員の意識改革につながった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	7	0	0	14
②	虐待は行われていない	12	2	0	0	14
③	プライバシーが守られている	5	9	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	8	0	0	14
⑤	適正な個人情報の管理ができています	6	8	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・会議などで、身体拘束、虐待に関する研修、話し合いを行い、職員の意識向上につながっている。 ・ご利用者のプライバシーに関して話す際には、他の方に聞こえないように配慮している。 ・パソコンにスクリーンセーバーをかけ、個人情報が洩れないように努めている。 ・ご利用者氏名が記入してある表等は、意識的に裏を向け、すぐに見ることができないようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・朝礼、夕礼時、職員の立ち位置によっては、話している内容がご利用者に聞こえていることがあるから。 ・一般的な拘束はしていないが、「ちょっと待って」「ここに座っててください」などのスピーチロックに関しては、ケアの中で言っていることが多いためできていないと感じた。 ・言葉が雑になっている。馴れ馴れしい言葉や、子どもに話しているかのような声掛けになっているように思う。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
計画継続 ●各項目を毎月の定例会議にて話し合う。 身体拘束：4月・7月・10月・1月 虐待：5月・8月・11月・2月 個人情報・プライバシー：6月・9月・12月・3月	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人嵐山寮	代表者	理事長 寺本演夫	法人・事業所の特徴	当法人は昭和30年に嵯峨天龍寺に戦争で配偶者をなくした女性の家として、初代高野山真言宗宗会議長を務めてた僧侶亀山弘應の手で「養老院」を開設。その後も、社会・地域のニーズにこたえるべく、右京区内にて「特別養護老人ホーム(3事業所)」「デイサービス」「居宅介護事業所(3事業所)」「ヘルプ事業所」「小規模多機能事業所(2事業所)」等の高齢者福祉施設を展開、運営をしています。 「小規模多機能施設ひろさわ」は2011年11月に嵯峨広沢に開設、嵯峨・広沢学区を担当日常生活圏域とし活動。同敷地内にて「地域密着型特別養護老人ホーム」「短期入所施設(ショートステイ)」「居宅介護支援事業所」「サービス付き高齢者向け住宅」の事業所を運営しています。
事業所名	嵐山寮小規模多機能施設ひろさわ	管理者	西野 栄里子		

書面会議	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
書類配布	0人	1人	9人	0人	3人	1人	0人	0人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	①2019年度の事業所自己評価で決定した改善計画を、2020年度実行する。	①全職員で評価を実施。評価を行うことで、事業所として、実施できたこと、出来ないことがわかる。	書類から全職員での自己評価されている事が確認できた。 高齢者に寄り添って、生活の支えとなるよう努力していただきたい。	①2021年度の事業所自己評価で決定した改善計画を2022年度実行する。
B. 事業所のしつらえ・環境	①引き続き、感染対策を最優先し、環境整備等進めていく。 感染対策研修を実施。	①コロナウイルス感染予防のため、引き続きアクリル板設置・定期換気・備品消毒の徹底を行った。 感染対策研修を看護師が講師となり実施した。	コロナ対策に腐心されている様子が伝わってくる。感染者を出さないため、日々感染対策を講じながらの運営と思われる。	引き続き、感染対策を最優先し計画推進できる方法を探る。 ①環境整備・感染対策研修等
C. 事業所と地域のかかわり	感染対策を講じたうえで前年度の計画を推進する。 ①無料相談会の継続開催 ②地域のイベントを運営推進会議等で確認し、事業所職員が参加する。	①コロナウイルスの影響により対面相談会の開催はできなかったが、適宜、電話等で相談に応じることはできた。 ②コロナウイルスの影響により、地域イベントに事業所職員が参加する機会を確保することができなかった。	感染対策を行いながら、無料相談会を行って欲しい。地域とのかかわりを検討して欲しい。	感染対策を講じたうえで計画推進できる方法を探る。 ①無料相談会の継続開催検討 ②地域と関わりを持てるイベント及び、地域イベントに事業所職員の参加を検討
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染対策を講じたうえで計画を推進する。 ①嵯峨学区・広沢学区の地域ケア会議に参加する。 ②地域のイベントを運営推進会議等で確認し、ご利用者が参加する。	①コロナウイルスの感染予防、及び拡大防止のため、会議出席人数が制限されたことから、出席する機会を確保することができなかった。 ②コロナウイルスの影響により、地域イベントにご利用者が参加される機会を確保することができなかった。	ご利用者の自宅への訪問などの取組みされており、理解が進むことだと思う。2022年度状況が許せば、地域イベントにご利用者の参加を検討して欲しい。	感染対策を講じたうえで計画推進できる方法を探る。 ①嵯峨学区・広沢学区の地域ケア会議への参加検討 ②地域のイベントを運営推進会議等で確認し、ご利用者の参加を検討
E. 運営推進会議を活かした取組み	①感染対策を講じたうえで、運営推進会議が開催できるようにする。	①11月にはコロナウイルスの感染状況が落ち着いていたこともあり開催	コロナウイルスの影響により、今年度、運営推進会議は1回の	感染対策を講じたうえで計画推進できる方法を探る。

		<p>することができた。その他の開催に関しては、コロナウイルスの影響により、書面会議としている。</p>	<p>みの開催であった。</p>	<p>①運営推進会議が開催できるように、開催方法・内容を検討</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>①防災計画に関しては、書面で提示できるようにする。 ②C あんど C 嵯峨、同一建物テナント同士の連携協議、及び合同の訓練実施を検討。</p>	<p>①3 月開催の運営推進会議時に提示させていただき予定である。 ②コロナウイルスの感染予防の観点から、同一建物テナント同士の合同訓練実施の機会を確保することができなかった。 10 月に消防署と事業所職員合同の「夜間想定避難訓練」「消火訓練」を開催。また、2 月には、消防署と事業所職員合同の「日中帯避難訓練」「消火訓練」の開催を予定している。</p>	<p>①コロナウイルスの影響により、運営推進会議の開催がなく、防災計画を確認できなかった。 2022 年度は、確認できるように考えて欲しい。 ②2022 年度状況が許せば、地域住民が参加できる、同一建物合同での訓練を検討して欲しい。</p>	<p>感染対策を講じたうえで計画推進できる方法を探る。 ①防災計画を提示できるように検討 ②C あんど C 嵯峨、同一建物テナント同士の連携協議、及び合同の訓練実施を検討</p>